



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 東芝プラントシステム株式会社
 コード番号 1983 URL <http://www.toshiba-tpsc.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 林 正孝
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 田邊 賢吾
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-500-7012

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	44,035	10.3	2,913	225.1	4,125	240.9	2,608	297.5
30年3月期第1四半期	39,908	3.3	896	72.2	1,210	66.2	656	72.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 2,847百万円 (193.6%) 30年3月期第1四半期 969百万円 (58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	26.77	
30年3月期第1四半期	6.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	248,413	146,278	58.8
30年3月期	256,003	145,379	56.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 145,958百万円 30年3月期 145,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		20.00		20.00	40.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		21.00		21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,000	3.6	7,500	29.6	8,500	40.2	5,800	56.7	59.54
通期	240,000	3.2	20,000	1.2	21,000	3.8	14,300	5.5	146.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	97,656,888 株	30年3月期	97,656,888 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	244,829 株	30年3月期	244,729 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	97,412,092 株	30年3月期1Q	97,413,004 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	… 2 ページ
(2) 財政状態に関する説明	… 2 ページ
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	… 2 ページ
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	… 3 ページ
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	… 4 ページ
四半期連結損益計算書	… 4 ページ
第1四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	… 5 ページ
第1四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	… 6 ページ
(継続企業の前提に関する注記)	… 6 ページ
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	… 6 ページ
(追加情報)	… 6 ページ
(セグメント情報等)	… 7 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な海外経済を背景に輸出、生産、設備投資が増加し、企業収益、雇用環境等も改善するなど、景気は引き続き緩やかな回復基調にありました。

このような状況のもと、当社経営理念(※1)を通じ、「経営ビジョン」である「利益ある持続的成長を続けるエクセレントカンパニー」の実現に向け、2018年度中期経営計画において「①高収益と成長を着実に実現するビジネスモデルの構築」、「②BCM(※2)経営によるイノベーションの追求」、「③CSR経営の推進」を基本戦略として諸施策を積極的に推進しました。

この結果、受注高は516億4千万円、売上高は440億3千5百万円となりました。また、利益面につきましては、営業利益は29億1千3百万円、経常利益は41億2千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億8百万円となりました。

※1 私たちは、社会インフラの事業を通して、お客様の望むサービス、製品、システムを提供し、従業員一人ひとりが輝く仕事で広く社会に貢献します。

※2 BCM(Balanced CTQ Management)とは、企業の経営ビジョンを実現するための、財務やその他経営状況、経営品質を含めバランスのとれた経営を行うための方法論です。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

<発電システム部門>

受注高は、国内の火力発電設備等が増加しました。売上高は、国内外の火力発電設備等が減少しました。

<社会・産業システム部門>

受注高及び売上高ともに、国内の一般産業向け及び太陽光発電設備等が増加しました。

セグメント別の受注高及び売上高等

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年 同期比	売上高 (百万円)	前年 同期比	経常利益 (百万円)	前年 同期比
発電システム部門	23,085	16.1%	22,805	△17.9%	1,737	113.1%
社会・産業システム部門	28,555	106.0%	21,229	75.2%	2,388	504.8%
合計	51,640	53.0%	44,035	10.3%	4,125	240.9%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から75億8千9百万円減少し、2,484億1千3百万円となりました。これは主に、現金預金及び株式会社東芝へのグループ預け金の増加107億3千4百万円、未成工事支出金の増加62億7千3百万円があるものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少260億2千3百万円によるものであります。

一方、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から84億8千9百万円減少し、1,021億3千5百万円となりました。これは主に、未成工事受入金金の増加10億7千5百万円があるものの、支払手形・工事未払金等の減少77億2千6百万円、未払法人税等の減少20億8千7百万円によるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から8億9千9百万円増加し、1,462億7千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,026	9,161
グループ預け金	90,468	102,067
受取手形・完成工事未収入金等	100,535	74,511
電子記録債権	1,079	2,161
未成工事支出金	24,861	31,135
その他	7,660	7,787
貸倒引当金	△473	△412
流動資産合計	234,158	226,413
固定資産		
有形固定資産	6,917	6,846
無形固定資産	229	221
投資その他の資産		
その他	14,816	15,047
貸倒引当金	△118	△115
投資その他の資産合計	14,698	14,931
固定資産合計	21,845	22,000
資産合計	256,003	248,413
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	48,457	40,730
未払法人税等	4,505	2,417
未成工事受入金	17,458	18,534
役員賞与引当金	92	121
完成工事補償引当金	578	616
工事損失引当金	27	80
その他	14,228	15,293
流動負債合計	85,348	77,793
固定負債		
役員退職慰労引当金	44	29
退職給付に係る負債	24,812	23,892
資産除去債務	391	393
その他	27	26
固定負債合計	25,275	24,341
負債合計	110,624	102,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,876	11,876
資本剰余金	20,910	20,910
利益剰余金	114,207	114,867
自己株式	△167	△167
株主資本合計	146,827	147,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	16
繰延ヘッジ損益	△209	△44
為替換算調整勘定	230	118
退職給付に係る調整累計額	△1,806	△1,619
その他の包括利益累計額合計	△1,777	△1,528
非支配株主持分	329	320
純資産合計	145,379	146,278
負債純資産合計	256,003	248,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	39,908	44,035
売上原価	35,619	38,072
売上総利益	4,289	5,962
販売費及び一般管理費	3,392	3,048
営業利益	896	2,913
営業外収益		
受取利息	14	749
受取配当金	32	11
持分法による投資利益	5	2
為替差益	209	426
その他	55	23
営業外収益合計	317	1,212
営業外費用		
その他	3	0
営業外費用合計	3	0
経常利益	1,210	4,125
税金等調整前四半期純利益	1,210	4,125
法人税、住民税及び事業税	970	1,937
法人税等調整額	△407	△417
法人税等合計	563	1,520
四半期純利益	646	2,605
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	656	2,608

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	646	2,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	8
繰延ヘッジ損益	△19	165
為替換算調整勘定	35	△118
退職給付に係る調整額	310	187
その他の包括利益合計	322	242
四半期包括利益	969	2,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	989	2,857
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	27,791	12,116	39,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85	62	148
計	27,877	12,179	40,056
セグメント利益	815	394	1,210

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,210
四半期連結損益計算書の経常利益	1,210

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	22,805	21,229	44,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109	18	128
計	22,915	21,248	44,164
セグメント利益	1,737	2,388	4,125

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,125
四半期連結損益計算書の経常利益	4,125